

第 25 回全日本中学生男女ソフトボール大会愛媛県予選

1 競技規定

- (1) 試合はトーナメント戦とする。
準々決勝までの試合は、7 回戦 70 分の時間制を採用する。時間制とは、その時間を越えて新しいイニングに入らないことである。
7 回終了した時点または 70 分の時間制の終了した時点で同点の場合は、次の回のみ「タイブレークルール」を採用する。（なお、70 分以内であれば、「タイブレークルール」を続ける。）それでも同点の場合は、抽選とする。
なお、準決勝・決勝・3 位決定戦は、80 分の時間制を採用し、同点の場合は勝敗が決するまで「タイブレークルール」を行う。
- (2) ベンチに入れるメンバーは、選手 25 名以内、引率責任者 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名の合計 30 名以内とする。引率者以外は全員日本ソフトボール協会に登録していること。また、ベンチ内に指導者資格を持った者が 1 名はいること。その他の者は、ベンチに入れない。なお、スコアラーは公式記録員の有資格者でなければならない。
- (3) 使用球は、男女とも協会公認（ナガセケンコー）3 号ボールとする。各チームにて用意し、オーダー用表提出時に本部に新球 2 球を提出する。
- (4) 金属製スパイク・セラミック製スパイクは禁止する。
- (5) フィールドイングは、当日一回目の試合のみ 5 分間とし、登録されたメンバー（ユニフォームを着た 28 名以内）で行うこと。
- (6) 試合開始予定時刻 30 分前または前の試合 4 回終了時のどちらか早い方で、オーダー表と指導者資格のカード、新球 2 球を監督がユニフォームを着用し、記録員に提出する。（当日の運営上、試合時間を早めることがあるので注意すること。）
- (7) その他は、2025 年オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。

2 注意事項

- (1) 審判員・記録員・役員や相手チームに対しては、中学生らしいマナーで接し、真剣なプレーを行う。
- (2) 用具やユニフォームなど以下の点に注意すること。
 - ア 監督・コーチおよび選手は同一のユニフォーム（主将 10、監督 30、コーチ 31・32 の UN をつける）を着用すること。引率責任者・スコアラーは、平服（短パン不可）を着用する。ユニフォーム、帽子などについては、オフィシャル・ルールに従うこと。
 - イ 打者、走者、次打者、ランナーコーチはヘルメットを着用すること。（7 個は必要）
 - ウ 捕手は、スロットガード付きマスクとヘルメットを会場内の練習時より着用すること。
 - エ バットは協会公認のものを使用すること。協会公認のマークがないもの、古いもの、変形したもの、傷のついたもの等は使用を認めない。
- (3) ファールボールは両チームで拾い、本部の係に届ける。
- (4) チームで使用したグラウンドは必ず整備を行うこと。指示がない限りノック・試合後も行うこと。